

どっと原価NEOシリーズ サポート情報

【仕訳データ転送】税無明細を非課税区分で転送する方法

Q: 普段は課税仕入だが、今回だけ非課税で処理したい。
仕入伝票入力で税無しの明細を入力したはずが、仕訳データ転送で課税区分が設定されてしまう。

▼仕入伝票入力

日付: 20/03/30 伝票番号: 30000787

業者: 110 土地貸付業者

工事: 100 01 会計工事1

税額表示: しない

業者区分: その他 締日: 31日 消費税計算: 消

▼要素内訳一覧登録

税区分=5: 課税仕入

要素	原価要素内訳	支払内訳	売上内訳	入金内訳
要素	8	土地代		

No.	コード	要素内訳名	科目	借方	税区分	部門	予備
1	0	土地代	0120-0000	仕掛土地代	5		

No.	取引区分	立替	品名/規格	税処理	数量	単位	単価	金額	借方
1	0 通常	<input type="checkbox"/>	土地代 (2週間) 0000-0001-000001	1 外税	1.00	式	100,000.0	100,000	土地代 80000
2	0 通常	<input type="checkbox"/>	土地代 (3ヶ月分) 0000-0001-000001	3 税無	1.00	式	3,000,000.0	3,000,000	土地代 80000

▼仕訳データ転送

区分別: 仕入 支払 売上 請負 入金 完成振替(仕入) 完成振替(入金)

日付: 20/03/30 ~ 20/03/30

転送種類: 明細単位

日付指定: しない 転送日付: / /

未成/完成: 未成 完成 両方

会社選択の内容: 会計連動: CSV 会社コード: 会社名: 会計期:

No.	転送済	日付	CSV伝票番号	会計行番号	伝票番号	要素内訳	税処理	部門	科目	補助	税	税抜金額	消費税	税込金額
1	<input type="checkbox"/>	20/03/30	117	1	30000787	80000 土地代	外税	3 設備部	120 仕掛土地代	0	5	100,000	10,000	110,000
2	<input type="checkbox"/>	20/03/30	117	2	30000787	80000 土地代	税無	3 設備部	120 仕掛土地代	0	5	3,000,000	0	3,000,000
3						《仕訳伝票計》						3,100,000	10,000	3,110,000
4						《総合計》						3,100,000	10,000	3,110,000

(参考) 土地代(又は地代家賃)…1か月以内の場合は課税、1か月以上借りる場合は、非課税となります。

A: 通常は課税仕訳だが、特定の場合に非課税(不課税)になる場合は、初期設定-会計情報2-伝票税区分変換を設定します。
今回は仕入のため、仕入伝票「する」、税無用税区分に非課税区分を設定します。(税区分=0:非課税)

共通情報	工事情報	仕入情報	予算情報	発注情報	会計情報1	会計情報2								
<h4>転送設定</h4> <p>工事コード形式: 区切り文字(ハイフン)を含めない</p> <p>税率転送: しない</p> <p>伝票最大明細数: 999</p> <p>日付フォーマット: yyyy/MM/dd</p> <p>取引先転送: 請求先</p> <p>完成振替: する</p> <p>完成振替税区分変換: しない</p> <p>仕入仕訳並び順: 日付・伝票番号・業者順</p> <p>転送桁数: 8</p> <p>税無用税区分: ※「税無用税区分」は連携する会計ソフトによって異なるため、会計ソフト様側へご確認いただきますようお願いいたします。</p> <p>※転送種類</p>														
<h4>伝票税区分変換</h4> <table border="1"> <tr> <td>仕入伝票</td> <td>する</td> <td>税無用税区分</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>売上伝票</td> <td>しない</td> <td>税無用税区分</td> <td></td> </tr> </table>							仕入伝票	する	税無用税区分	0	売上伝票	しない	税無用税区分	
仕入伝票	する	税無用税区分	0											
売上伝票	しない	税無用税区分												

伝票税区分変換を「する」にし、「税無用税区分」に非課税区分を設定することで、仕訳データ転送画面では、「税処理=3:税無」の明細の「税区分」が自動的に、設定した非課税区分に置き換わります。

▼仕訳データ転送

税無しの明細が非課税区分「0」になりました。

区分別	<input checked="" type="radio"/> 仕入 <input type="radio"/> 支払 <input type="radio"/> 売上 <input type="radio"/> 請負 <input type="radio"/> 入金 <input type="radio"/> 完成振替(仕入) <input type="radio"/> 完成振替(入金)	
日付	20/03/30	~ 20/03/30
転送種類	明細単位	
日付指定	しない	転送日付
未成/完成	<input type="radio"/> 未成 <input type="radio"/> 完成 <input checked="" type="radio"/> 両方	
会社選択の内容		
会計連動	CSV	会計期
会社コード		会社名

No.	転送済	日付	CSV伝票番号	会計行番号	伝票番号	要素内訳	税処理	部門	科目	補助	借方	税区分	税抜金額	消費税	税込金額
1	<input type="checkbox"/>	20/03/30	117	1	30000787	80000 土地代	外税	3 設備部	120 仕掛土地代	0	5	5	100,000	10,000	110,000
2	<input type="checkbox"/>	20/03/30	117	2	30000787	80000 土地代	税無	3 設備部	120 仕掛土地代	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000
3						《仕訳伝票計》							3,100,000	10,000	3,110,000
4						《総合計》							3,100,000	10,000	3,110,000

なお、伝票税区分変換が「しない」の場合は、「要素内訳一覧登録」の税区分が課税で、仕入伝票入力時の「税処理」で「3:税無」を選択しても、仕訳データ転送画面では「税区分」が課税のままとなります。

【補足】

その他の方法として、非課税(不課税)用の要素内訳・品名を登録する方法もあります。細かく管理されたい場合はこちらをおすすめします。

「要素内訳一覧登録」で「原価要素内訳」に非課税用の要素内訳を登録し、非課税用の品名に紐づけすることで、仕入入力時にこの品名を選択すると、仕訳が非課税で転送されます。

(例) 「土地代」の非課税用要素内訳及び品名を登録する。

▼要素内訳一覧登録

要素	8	土地代
----	---	-----

No.	コード	要素内訳名	借方			
			科目	税区分	部門	予備
1	0	土地代	0120-0000 仕掛土地代	5		0
2	1	土地代(非課税)	0120-0000 仕掛土地代	0		0

▼品名一覧登録

分類	品名	土地代
----	----	-----

No.	品名コード	品名	規格	品名フリガナ	品番	単位	メーカー	サイズ	色	原価要素内訳
1	1	土地代		トチイ		式				80000 土地代
2	2	土地代(非課税)		トチ花地イ		式				80001 土地代(非課税)

例では、非課税用の要素内訳「土地代(非課税)」を登録し、「品名一覧登録」で、品名「土地代(非課税)」に紐づけています。こうすることで、仕入伝票入力で、「土地代(非課税)」の品名を選択した場合、非課税の仕訳が転送されます。